昭和42年5月12日第三種郵便物認可　第１７０１３号　（日刊）

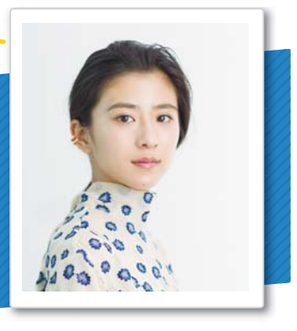
2020年（令和2年）
4月17日　金曜日

朝日小学生新聞

© 朝日学生新聞社
〒104-8433　東京都中央区築地 5-3-2　朝日新聞社新館 9 階
電話 03-3545-5223（広報）　03-3545-5222（編集）
購読申し込み 0120-415843　ウェブサイト www.asagaku.com

3面 ＯＤＡって何だ
4面 リポートの書き方おしえます
5面 おたより、しゃしん、イラスト
8面 まんが　戦国野菜

ピックアップ
俳優 黒島結菜さん
2面



ニュースあれこれ

米、ＷＨＯに「お金出さない」
トランプ大統領が表明

アメリカのトランプ大統領　©朝日新聞社

アメリカ（米国）のトランプ大統領は14日、新型コロナウイルスをめぐる世界保健機関（ＷＨＯ）の対応に問題があるとして、拠出金の支払いを60～90日間、止めると明らかにしました。ＷＨＯの予算は２年単位で組まれ、2018～19年は総額約56億ドルのうち、米国が約15％にあたる約８億９千万ドルを出しました。

トランプ大統領はＷＨＯが「中国寄りだ」と主張しています。ただ、米国内では大統領が対応をおこたったことが感染拡大の一因だったという指摘が増えていて、大統領にはＷＨＯの責任を問うことで批判をかわすねらいがありそうです。

世界保健機関（ＷＨＯ）　1948年にできた国際連合の専門機関で、保健や健康の問題に取り組みます。本部はスイスのジュネーブにあり、194か国・地域が参加しています。

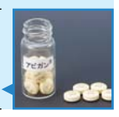
韓国総選挙、与党が圧勝

韓国の文在寅大統領　©朝日新聞社

韓国の総選挙（定数300、任期４年）が15日に投開票されました。文在寅政権を支える与党が、６割の議席を得て圧勝しました。政権の新型コロナウイルスへの対応が評価され、残り２年の任期を残す文大統領は、安定した政治運営ができそうです。

与党「共に民主党」系に対し、最大野党「未来統合党」系は大差で負け、黄教安代表も落選しました。

3面にもニュースあれこれ
最古の「現生鳥類」化石
新型コロナで期待の薬、増産



日付は現地時間。記事の一部は朝日新聞社の提供です

カレー作りも プログラミング的思考で

ふだんの生活でも役立つ プログラミング

今年度から、小学校でプログラミングを活用した授業が取り入れられます。大きなねらいは、コンピューターの技術を身につけることではなく、「プログラミング的思考」を養うことです。どんな考え方なのか、プログラミング教育にくわしい聖心女子大学非常勤講師の榎本竜二さんに聞きました。（佐藤美咲）

榎本竜二さん

自分の世界を広げる力なのです

プログラミングとは、コンピューターにしてほしい指示をあたえて動かすことです。

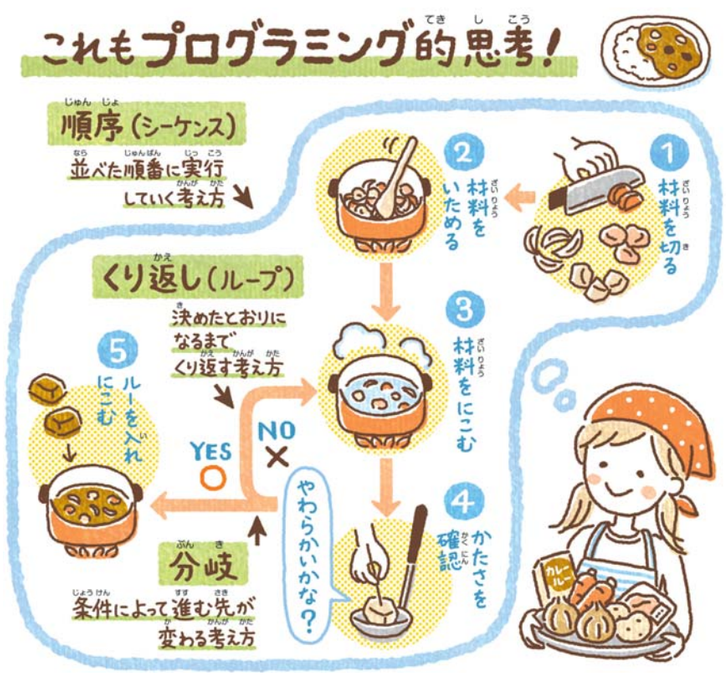
コンピューターは、作業の順番や組み合わせがまちがっていたり指示がぬけていたりすると、思ったとおりに動きません。

「どんな作業が必要か」「どんな順番で伝えたらいいか」などを考え、指示しなくてはいけません。

このように自分がやりたいことを実現するために、すじ道を立てて考える力が「プログラミング的思考」です。

榎本さんは「この力を身につければ、プログラミングをするときだけでなく、自分の頭の中の考えを相手にうまく伝えられるようになる」と話します。

「うまく伝えられると、相手の反応も変わる。難しく思わず、自分の世界が広がる力だと思ってほしいです」



イラスト・佐々木恵子

どうなるか予測をしてから 手を動かそう

「プログラミング的思考は、ふだんの生活でも身につけられる」と榎本さんはいいます。

例えば、カレーを作るとき。材料を切る、煮こむ、ルーを入れるなどの作業をどの順番でやるかを考えます。

材料がやわらかくなったかを確認し、まだかたければそのまま煮こみ、やわらかければ次に進みます。

こうした「物事を小さな作業に分けて、並べた順番に実行する（順序＝シーケンス）」「決めたとおりになるまで同じことをくり返す（くり返し＝ループ）」「条件によって次の進む先が変わる（分岐）」は、プログラミング的思考の基本です。

プログラミング的思考をきたえるために榎本さんがすすめるのは、①ふだんから大きな問題を小さな問題に分けて考える②物事を「なぜ・どうして・どうやって・どうだった」と意識して考える、です。こうした習慣は、読解力や、問題を見つけて解決する力もみがくことができます。

正しく試行錯誤することも大切です。むやみに取り組んで、たまたまうまくできた、では学びがないからです。

「まずはどうなるか予測をしてから、手を動かしましょう。自分の思いどおりにならなかったら、もう一度予測にもどることを心がけてみてください」とアドバイスします。

ジャンケンポン

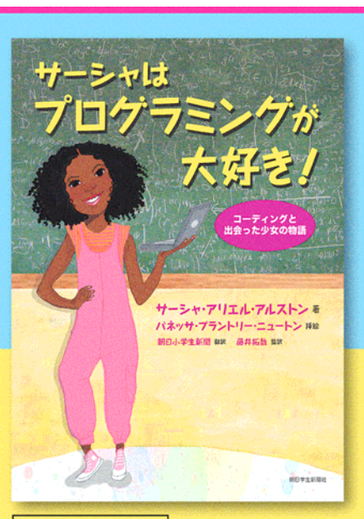
泉　昭二
16188

おたより送ってね　メール（asasho@asagaku.co.jp）または郵便（〒104・8433 朝日小学生新聞）で、「ジャンケンポン」係まで。名前、〒住所、電話番号、学年を忘れずに。

天声こども語

新型コロナウイルスに備え、消毒液を買いに行ったドラッグストアに貼り紙がありました。「レジ袋を購入するお客様はお選びください」。その下に、大きさや色に応じて3～10円の値の付いたレジ袋の絵があります▼この店は無料で配っていたプラスチック製レジ袋を4月から有料にしたそうです。プラスチックごみを減らすため、政府が有料化を義務づけた7月より一足早く始めたのです。有料にすることで自分の買い物袋（マイバッグ）を持ってくるようにしてもらうねらいがあります▼今、海にただようプラスチックごみは世界の大問題です。毎年少なくとも800万トンのプラスチックが海に流れ込み、2050年までに海中のプラスチックが魚全体の重量を超えるとも言われます▼私もマイバッグを使い始めました。でも家の中はプラスチック製品でいっぱいです。使わなくてすむものがないかもっと考えてみます。

2020.4.17



2020年度から小学校で必修化
「プログラミングのイメージが（物語を通して）つかめる！」
全米テレビ・雑誌で話題の本
日本初上陸！

サーシャはプログラミングが大好き！
コーディングと出会った少女の物語
サーシャ・アリエル・アルストン　著
バネッサ・ブラントリー・ニュートン　挿絵
朝日小学生新聞　翻訳　藤井拓哉　監訳
株式会社ロボット科学教育（Crefus）協力
定価 本体1100円+税　A5判ハードカバー、64ページ
ISBN 978-4-909064-26-4

あらすじ　小学４年生のサーシャは、夏休みの体験学習に「プログラミング」の一部である「コーディング」を選びました。最初は「コーディングなんてつまらなそう」と思ったサーシャでしたが、ソフトウエア開発者のママから「コーディングは、パソコンにしてほしいことをパソコンがわかる言語で伝えることよ。それを学べば、ゲームも作れるし、携帯のアプリやロボットも作れるのよ」と教えてもらい、興味を持ちます。

日本の読者のみなさんへ

私は21歳で、ニューヨークにあるペース大学で情報システムを専攻する大学生です。私がこの本を書いたのは、STEM（科学・技術・工学・数学）に関係した活動に、あまり女の子が参加していないことを実感したからです。私は、もっと子どもたち、特に女の子に、コーディングのやり方を習ってほしいと考えています。この本が日本で出版され、少しでも多くの人に読んでもらえることを願っています。

著者 サーシャ・アリエル・アルストン

お近くの書店、または amazon等のインターネット書店でお求めください。
朝日学生新聞社 www.asagaku.jp
お問い合わせは出版部 TEL 03-3545-5436（平日10：00～18：00）